

該当資料	番号	委員氏名	分類	内容	要点、捕捉事項等	回答	担当
【資料1】について	1	吉廣 則子	意見		<p>【資料の明確性について】 (資料1、全体) ・過去の調査とのギャップがある場合は、単にギャップ比較のグラフを表示したほうが良い</p>	<p>【資料1】 報告書の本編は調査結果について網羅的に記載した正式な記録としての報告書であり、客観性と中立性を重視しております。ギャップを強調するグラフは視覚的にはわかりやすい一方で、特定の年の変化を過度に強調してしまう可能性があります。調査結果を中立的に示すため、経年の数値を同じ形式で並べて比較できる方法を採用しています。</p>	人権男女共同参画課 (男女共同参画係)
	2		意見	<p>松江市調査とのギャップが繰り返し文字で記載があるけれど 単にギャップ比較のグラフを表示している方がわかりやすい気がします。</p> <p>大きなギャップがある場合は その原因の推測などを記載のほうがパッと見てわかりやすいです。</p>	<p>【資料の明確性について】 (資料1、全体) ・グラフの注目すべき点に、矢印や丸をつけたほうが良い</p>	<p>【資料1】 報告書の本編は、正式な記録としての性格が強く、中立性、客観性を重視しております。市民の皆様に幅広く読み取っていただくためにも、読み手の評価や判断を誘導するようなことを極力避けるため、矢印、丸などの装飾はつけないものとしております。</p> <p>【資料3】 概要版は主要な結果を委員の皆様にご覧いただきたくためものとなっておりますので、数値や傾向を視覚的に理解しやすいよう、色づけや強調の装飾をしております。報告書が完成し公表をする際には、装飾を外した形で公表する予定です。</p>	
	3		意見	<p>セクハラ項目で若い女性が被害が多いイメージでしたが 当事者からは 若い男性がセクハラ被害感を抱いている事などを 記載されているといい</p> <p>実際のグラフに矢印や丸をつけて 注目すべき点を 記載してあるとわかりやすいです</p>	<p>【推測の記載について】 (資料1、全体) ・大きなギャップがある場合は その原因の推測などを記載してほしい</p>	<p>今回の報告書は調査結果の数値や推移といった事実の整理に整理を中心としております。調査結果の原因等の詳細な分析については、R8年度に予定している計画策定の過程でより丁寧に行いたいと考えております。</p> <p>調査結果の集計作業と分析作業を分けることで、特定の見方に偏らない、より客観的な計画策定を行いたいと考えております。</p>	
	4		意見		<p>【問13.セクシュアル・ハラスメントについて】 (P98のグラフより) ・若い男性(20歳代)もセクハラ被害を直接経験していることについて言及すべき</p>	<p>ご指摘の通り、P96に文章を追加させていただきました。</p>	